

**横尾議員** 私の方から3点について質問いたします。まず、第1点ですが、町長公約、所信表明の進捗及び取組状況についての質問ですが、開会日に於いて、町長から現状報告がありましたが、福井新町政になって町民の皆さんも関心ごとであると思われまので、再度お聞きいたします。町長公約その1ですが、避難所の設置について、設置場所としての候補地は選定できているのか。2番目、仕事の創造について、これには5項目ありますが、創造の1番目として、一次産業の活性化、2番目、地場産業の育成、3番目、交流人口の増加、4番目、街並み景観と自然景観の整備、5番目、有償ボランティア事業の創造とあります。内容については、先程の8月の広報むぎに記載されているのでお伝えしていますが、各5項目の進捗及び取組状況はどのようなになっているのか。それと、町長公約の3番目としまして、住民との協働、先程、藤元議員の方からもありましたが、地域住民とどの程度、今現在意見交換ができていているのか。3点目のうちの2点目になりますが、地域活性化基金の応募、実施事業についてでございます。まだ日が浅いのもありますけども、現在までの応募状況、応募内容及び実施事業等についての経過、報告をお知らせください。3点目の最後になりますが、千年サンゴと生きるまちづくり協議会発足についてですが、これは県、町及び民間6団体の構成による協議会となって7月に発足されました。この協議会の目的が町の協議会における取り組み対応についての見解をお聞かせください。以上、よろしく申し上げます。

**枘富議長** 福井町長。

**福井町長** それでは、一応、13日にも概略を申し上げましたけども、繰り返しになるところもございませけども、改めて申し上げます。まず、避難所の設置でございますが、現時点では、避難所の候補地の認定と調査、それと整備方針の決定、1避難所の一部除草まで実施しておりますが、現場は、それ以降は進んでおりません。明日、1箇所避難路の境界協議に入る予定になっておりますが、今後、できるだけ早く、境界協議、除草、避難路、避難所の設置と実施してまいりたいと考えております。そのためにも、まだ、地域懇話会を実施していないところが多くございませので、できるだけ早く実施して、防災の要望を伺ってまいりたいと考えております。そのためにも地域懇話会を実施していないところが多くございませので、できるだけ早く実施して防災の要望を伺ってまいりたいと考えております。次に仕事の創造、活性化でございますが、5点ございませ。まず、1番の一次産業の活性化でございますが、農業では笹見地区で鳥獣害対策とか米価対策として、来年から薬草を植えるということで活動されておられます。町とし

てもできるだけご支援したいのですが、ご支援の必要があればそのようにしたいと考えております。それから、鳥獣害対策でございますけども、いろいろ検討は、今しておりますけども、その生産性ですね、今やっても農業されないとか、そういうところもございまして、一律的にやってしまうというのも非常に難しいところがございますので、どうやったらいいかということを考えながら、検討しながらやってまいりたいと考えております。どうしても本格的にやるということでございましたら、県とも協議して、例えば、山裾沿いに本格的に電柵を設置するなど、やってまいりたいと考えております。それと、農産品のブランド化でございますが、一部の地域で米のブランド化に向けた、小さな取り組みを始めていただいております。これもご支援する必要があるれば、ご支援してまいりたいと考えております。それと、次に漁業でございますが、現時点ではお話しすべき段階ではございませんが、時期尚早とお断りした上でお話しいたしますと、アワビと流れ子の親貝までの養殖ができないか、今、検討しております。漁協や県の栽培漁業センターなどの力を借りて、これから進めてまいりたいと考えております。それから、地場産業の育成でございますが、阿南高専とも連携して地場産業の育成、創造を行いたいと考えておりますが、現時点では未定でございます。ただ、既設の企業の側面的なご支援は実施したいと思っております。例えば、現時点で考えているのは、今回の補正でお願いしております観光物産所での展示販売でありますとか、町のホームページへの掲載でございます。次に交流人口の増加でございますが、交流人口の増加というのは、各種取り組みの複合的な成果になると思います。直接的な取り組みといたしましては、各種イベントの実施でございますとか、ウォーキング大会の実施、マラソン大会の実施なんかがあると思いますが、これまでやってきたものを除いて現時点の計画はございません。次に街並み景観と自然景観の整備でございますが、今後、景観法に基づく景観行政団体として手続きを進めてまいりたいと考えております。また、草刈業務に従事する臨時職員の数も増やし、町の除草、雑木の伐採をより広範囲に行うなどとして、このような目的のボランティア団体との協働と言いますか、活動も支援してまいりたいと考えております。それから、有償ボランティア事業の創造でございますが、現在、鬼ヶ岩屋の食堂経営を有償ボランティアでやろうと考えているようでございます。また、鬼ヶ岩屋で食事の宅配サービスも行うということでございますので、これも必要があれば支援したいと考えております。それと、先の経過のところでも申し上げましたように有償ボランティアと認められる草刈も支援したいと考えております。次に3番目の住民との協働でございます。現在、懇話会は5地区でしか実施しておりませんが、今後もっと早くペースを上げながら進めてまいりたいと考えております。また、会議に出席しない方も含

め、出席しても発言できない方も多くありますので、時期をみて、現時点ではすぐに難しいのですが、戸別に伺ってもいいかと考えております。それと、地域活性化支援基金の応募状況ということでございますが、これは、後で総務課長の方からご説明いたします。ただ、これを大々的に広報するというのは、非常に都合がよくない場合もございますので、その扱いが非常に難しいので、できたらこういうことをやりたいけどどうかなということで皆さん方にご相談いただいて、それだったらできますよというような形で、今、対応しています。次に千年サンゴと生きるまちづくり協議会の発足についてでございますけども、この協議会は県の指導で設立していただいております。牟岐町の貴重な資源を守るため、県の方も最善を尽くしていただいていると考えております。この協議会は、持続的な環境保全活動と地域の活性化を目的に設立されました。今後の牟岐町の対応といたしましては、負担金による支援の他、保全活動の活性化及び地域の活性化を目的として、積極的なPR活動を行ってまいりたいと考えております。以上でございます。

**枅富議長** 栗林総務課長。

**栗林総務課長** それでは、横尾議員の質問の牟岐町地域活性化支援助成金の応募の状況についてお答えいたします。現在、私どもの担当課のところに届いております件数は、3件であります。そのうち2件は、事業も完了し、助成金も支払っております。内容を申しますと、1点目は牟岐町観光協会の平成23年度牟岐の夏祭りイベント事業交付金、400千円です。2点目は農協前で実施いたしました平成23年度ふるさと牟岐あんどん交付金60千円です。3点目は牟岐商工会による平成23年度出羽島天草特産品開発事業で、事業費は681,500千円のうち交付申請額300千円であります。これからの支援事業ですが、牟岐町地域活性化支援事業助成金交付要綱第3条にあります、1、移住交流に関する事業。2、まちづくりに関する事業。3、特産品の開発等に関する事業。4、ボランティア活動に関する事業。5、その他、町長が必要と認めた事業ということで変わりありませんが、助成の方法といたしましては、消耗品と軽微な費用にも柔軟に助成できるようにと考えております。以上です。

**枅富議長** 横尾議員。

**横尾議員** 住民との懇話会については、進めてもらって十分意見交換をしていただける

ように再度お願いします。地域活性化基金というのは、福井町政にとっては、目玉施策ということなのですが、今、お話しを聞くと、なかなか広報もしづらいというふうなこともありまして、痛し痒しかなという気がいたしますが、なるだけ前向きな施策となっておりますので、推し進めていただきたいと思います。また、千年サンゴと生きるまちづくり協議会について、こういうふうな協議会が発足しましたということの広報PRというのも町にとっては必要ではないかと思っています。また、負担分の支援とかPRとかをしていくということですが、できれば保全活動等の現場にも加わっていただきたいというふうに思います。以上です。終わります。